

# まちを想う、仲間とつなぐ ゆめこらぼ 通信



第44号

平成28年8月1日発行



発行 西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ 〒188-0012 東京都西東京市南町 5-6-18 イングビル1階

## 〈協働のまちづくりワークショップ〉

### 災害が起きた時、西東京市で何ができるか話し合おう！

平成28年7月19日(火) 西東京市役所防災センター6階 講座室2にて

参加者：市民・団体・企業の方33名、市職員29名



講師：認定NPO法人  
茨城NPOセンター・コ  
モンズ代表理事  
横田能洋氏

茨城県常総市で昨年9月に起きた鬼怒川堤防決壊は、被災家屋5000軒以上、1000人以上がヘリコプターで救助されるという甚大な被害をもたらしました。

ここで被災者となりながら、市と市民とをつなぐ

中間組織のリーダーとして活動された横田さんのお話を聞いた後、実際に常総市で起こった問題について考えるワークショップが、横田さんの進行で行なわれました。

横田さんは、被災者の生活課題を調べ関係機関に改善提案を行ったり、支援のために集まった他地域からの団体・被災地のグループ・県や市と、定期的に話し合ったり、人と人をつなぐ努力を今も続けています。そうした中で、当初、行政の判断では「できない」とされたことも、民間の発想を取り入れたことで「できること」に変わった事例もありました。また、復興計画への意見集約のワークショップを幾度も行い、そこでの市民の意見が、実際の復興計画に反映されたものもありました。



ワークショップでは、問題の原因やその解決法を各自で提示し、それを踏まえて日頃からできる対策を挙げていきます。



「災害対策と協働に関心のある方」という募集にあつまった市民と市職員併せて62名がつどいました。

こうした状況をふまえ、「壊れた家の壁など、災害ゴミが不法投棄された」「避難所から自宅へ戻った人は被災者ではないから、避難所に来た物資は渡せない？」といった4つの問題に分けて班ごとに1つの問題を4~5人ずつの計14班で話し合われました。

それぞれ正解のない問題でもあることから、最後に各班で書き上げられたまとめ用紙には、さまざまな意見が出ていました。しかし共通していたことがひとつ。それは、問題解決の糸口はコミュニケーションにあるのではないか。避難所に来ない人がどう困っているのか等の状況は見えづらく、他者の状況がわからないと不安になる。しかし、災害のおこる前から互いの顔の見える関係が作られていれば、避難所に来ない人へも情報を伝えやすいだろうし、避難所内での情報共有もしやすくなるのではないかと、といった指摘です。

「まずはご近所さんと、挨拶することから始めよう」という意見が、今、西東京市で始めるべき第一歩の象徴なのだと感じました。

<取材:ままペンシル 徳丸由利子、写真撮影:勝 正俊>

## ◆◆登録団体活動紹介◆◆



### iPad 楽しみ隊

みなさん、スマートフォンやタブレットを使いこなせていますか？NPO 法人西東京 NPO 推進センター〔セブロス〕が支援している iPad 楽しみ隊は文字通り iPad を趣味として使いこなせるようにしようという教室を開いています。

今回の授業では「iCloud」を使ったバックアップと写真共有の仕方から始まりました。ネットワークなどの設定は難解で、バージョンによっても違うことがあるので一つひとつの手順を確認しながら進んでいきました。

若者に人気の「LINE」ですが、若者でなくとも使える方法を伝授。常に表示される「知り合いかも？」等はどのような仕組みで表示されるか、又トラブル事例やセキュリティのことも教えてくれます。何度か復習として同じ事柄を習いますので、覚えられないからとしりごみすることはありません。

生徒の皆さんの新しいことを楽しもうとする姿勢が素晴らしかったです。頻繁に質問が出て一緒に解決していく様子が印象的でした。



「バージョンが変わっても操作方法が変わらないシニア用の iPad があったら良いのに」とは生徒談

## オンリーワンクルー

「生きるために居場所が必要だった」これは、私がオンリーワンクルーを始めたうそ偽らざる本音だ。

平成15年、私は西東京市の自宅をひきこもりやニートなどの若者のための居場所として開放した。月2回「鍋の会」を開催し、鍋を囲んで時には朝まで語り合った。13年経った現在、「鍋の会」は「ふらっと」と名前を変え、今でも人付き合いが苦手な人たちのための「人間関係の練習場所」として毎月1回、西東京市民会館の和室などを借りて開いている。主催者の私にとっても、この居場所は必要で、「心の拠り所」としてなくてはならないものである。「自分の存在意義」を探し求めた20代。「自分は何のために生きているのか？」というまじめな問いについて一緒に語り合い、自分なりの答えを出すプロセスを共有できる仲間が私には必要だった。しかし、世間を見渡してもなかなかそういう場が見当たらない。そこで、「仕方がない。ないなら、自分で作ればいいのでは？」という発想に至り、オンリーワンクルーは妻と二人三脚での船出となった。やっていることは、コミュニケーションの促進ができるカードゲームをしたり、さまざまなテーマを用意して、そのテーマに沿ってみんなで話している。誰でも参加できるので一度遊びに来て下さい。

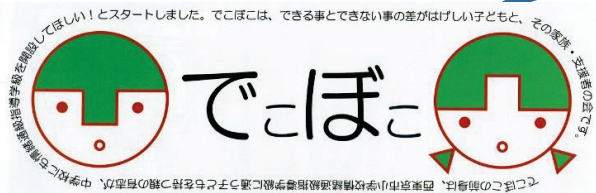
参加費：300円。(問い合わせ：070-2802-5190 鈴木)

(代表：鈴木剛氏)





◆◆登録団体活動紹介◆◆



定例会インタビュー  
シリーズ第2弾

毎月1回開かれる『でこぼこ』の定例会にお邪魔し、楽しい活動や団体運営などについてメンバーの方々へインタビューしてきました。その模様をお伝えし、『でこぼこ』の成り立ちなど団体紹介を致します。定例会は7月9日(土)、住吉会館ルピナスで開かれました。

☆ 『でこぼこ』 始まりは

平成16年中学校情緒通級指導学級早期開設への要望、学習会から始まり、平成18年『でこぼこ』発足、スタート時の20家族から今では支援者を含む30家族以上に増えています。また、発達でこぼこのある小・中学生が成人になり、大学進学・就労へと進み、その親たちも継続して会に参加し、子育て世代の親達との積極的な情報交換も行われています。

☆ どのような活動をしていますか、

キャンプ、登山、ボルダリング教室、TRPG活動(テーブルトーク ロールプレイングゲーム)、茶話会、忘年会、DVD鑑賞など多岐にわたって活動しています。

☆活動への参加メンバーはどう増やしていますか、

最近ホームページやブログを通じて参加してくるケースが多くなっています。また、市の関連組織から子ども達の不適応の問題を抱えた人の紹介があるなど、西東京市の中でも発達障害に対する『でこぼこ』の取り組みは高く評価されています。

☆ イベントの企画や運営はどのようにされていますか

主に年間のイベントは年に1回開かれる総会で決めますが、定例会で具体化し、それ以外にもFaceBookやLINEを使い、みんなで企画しています。また、キャンプや登山の担当やホームページ担当などのメンバーの得意とする分野を活かした役割分担をしています。

☆ 活動して良かったと思うこと

子ども達の不適応に対応する場合、先輩方の意見が大いに参考になります。問題発生時の時代背景は異なりますが、異なる世代と対応策を検討することは新たな取り組みを生み出す可能性を感じ楽しみでもあります。

☆ ゆめこらぼに期待すること

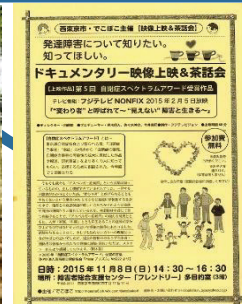
何らかの不適応を抱えた子ども達に関わる団体同士が交流できる小さな会などを催していただけるとありがたいです。

※『でこぼこ』の連絡先は、ゆめこらぼのホームページでご確認ください。

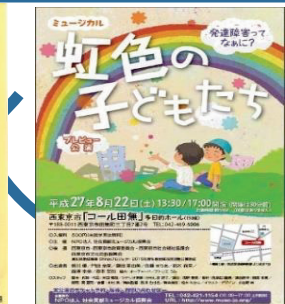
『でこぼこ』のイベント



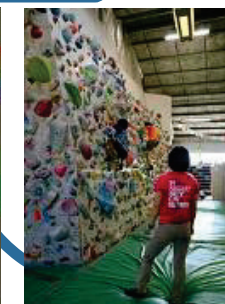
山登り



ドキュメンタリー  
映画上映



発達障害啓発  
ミュージカル開催協力



ボルダリング教室



定例会取材模様

IT コラボ講座  
「ITによる新しい出産準備」  
について学ぼう!

赤ちゃんのための準備はしても産後の準備は怠りがち。産後ケアのプロ「マドレボニータ」が提案するスマホアプリを使って産後の準備を学びます。これから出産を迎えるご夫婦やご家族で、出産準備をスタートしましょう。同じ立場の方同士のネットワークを作る良い機会です。第2子、第3子の妊娠中の方もぜひご参加ください。

講演及びワークショップ

日時 8月27日(土) 午後1時30分～4時30分

場所 障害者総合支援センター「フレンドリー」

対象 妊娠中または出産をお考えのカップルや家族

定員 20組40人申込順(託児:先着順受付)

費用 無料

講師 NPO法人マドレボニータ

理事・林理恵氏、事務局次長・太田智子氏

申込み:電話、ファックス、Eメールで、①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号を明記し、8月20日(土)までに市民協働推進センターゆめこらぼ「ITコラボ講座」係へ

新たな登録団体<6月～7月>

◆NPO法人ぴーなっつハウス

高齢者や障がい者を取り巻く環境改善の為、お買物の代行・同行及び見守り活動を行い、地域福祉に寄与することを目的とする。

◆こどもプレイス

貧困の中にあり、勉強の手助けが必要な子どもを支援する。また、子どものニーズによっては食事の提供も行う。

◆ちゃんぷるー

第二次大戦の沖縄戦について、子どもや若い世代に伝え、平和の大切さを考えてゆきたい。

<平成28年7月末現在で141団体になりました。>

編集後記

登録団体活動紹介の中に「定例会インタビュー」コーナーを作ってみました。6月号でも「きらっとシニア倶楽部」を掲載しましたので今回は第2弾となります。

ゆめこらぼ通信の登録団体活動紹介にまだ掲載されていないところで定例会インタビューを要望する団体は連絡ください。

人材・団体育成事業  
IT コラボ勉強会 参加者募集!!  
パソコン・スマホ・タブレットを学び  
たい方の意見をお聞かせください。

IT コラボ勉強会ではIT技術を利用して地域課題を解決したいと皆さんが熱い思いを語っています。毎月、第3土曜日または第4土曜日に『IT コラボ勉強会』を開催しています。パソコン・スマホ・タブレットについて全くの素人の方を対象に簡単な実習の場を企画することになりました。パソコン・スマホ・タブレットを学びながらIT コラボ勉強会に参加して意見を伝えてみませんか、

IT コラボ勉強会

日時 8月27日(土) 午後5時～6時

場所 ゆめこらぼサロンコーナー

費用 無料

ひまわりプロジェクト DE OIL 2016  
ひまわり迷路  
挑戦者来たれ!

西東京市と東大生態調和農学機構が共同で取り組む「ひまわりプロジェクト DE OIL 2016」の一環として、東大生態調和農学機構のひまわり畑を一般公開します。1,000平方メートルのひまわり畑に設けられた迷路に挑戦してみませんか?

日時 8月16日(火)～8月26日(金) ※土、日、月曜日を除く午前9時30分～午後4時

場所 東大生態調和農学機構(旧東大農場)

正門を入り右側

おとぼ・メディアサロン参加者募集

地域デビューを目指す方の交流の場として、月に一度、『おとぼ・メディアサロン』を開催しています。参加して楽しい地域デビューシリーズを企画してみませんか、お待ちしております。

日時 8月18日(木) 午後4時から4時30分

場所 ゆめこらぼサロンコーナー

西東京市 市民協働推進センター ゆめこらぼ

〒188-0012

西東京市南町5-6-18 イングビル1階

Tel:042-497-6950 Fax:042-497-6951

E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp

http://www.yumecollabo.jp/



ゆめこらぼ  
モバイルページ

開館時間 午前10時～午後7時  
休館日 毎週日曜日